会議録

会議の名称	令和6年度第2回ふじみ野市男女共同参画推進審議会			
開催日時	令和7年1月30日（木） 開会時刻 午後1時30分 閉会時刻 午後3時			
開催場所	ふじみ野市役所本庁舎2階A201会議室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	会長	大河内 玲子	委員	塚本 秀樹
	副会長	笠谷 隆久	委員	丹羽 宣子
	委員	池田 美帆	委員	丸山 昇
	委員	尾山 みゆき	事務局	粕谷 直樹
	委員	加藤 康弘	事務局	宮内 弥生
	委員	工藤 陽介	事務局	嶋田 恵子
	委員	齊藤 敦子	事務局	水上 博子
	委員	島村 かほる		
会議の議題	女性の審議会等委員の登用促進について			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由	—			
傍聴人の数	0人			
会議の内容	別紙のとおり			
会議資料	(1) 審議会等の女性の登用状況に係るヒアリング実施結果 (2) 審議会等の女性の登用状況ヒアリング結果に係る審議会委員意見 (3) 課題解決検討シート (4) ふじみ野市における審議会等への女性委員登用促進方針			
事務局	市民生活部 市民総合相談室			
議事の確定	確定年月日	令和7年2月13日		
	記名押印 又は署名	役職名 ふじみ野市男女共同参画推進審議会会長 大河内 玲子		

発言の要旨

発言者	発言の要旨
事務局	<p>1 開会</p> <p>会議に先立ちまして、本審議会の会議の公開についてご説明申し上げます。「ふじみ野市審議会等の会議の公開に関する規則」第3条に「審議会等の会議は、これを公開する」と規定されております。従いまして、本審議会は公開にて実施されます。本日、傍聴者はいらっしゃいません。</p> <p>それでは、第2回ふじみ野市男女共同参画推進審議会を開催させていただきます。</p> <p>本日の審議会は11人の委員にご出席いただいておりますので、ふじみ野市男女共同参画推進条例施行規則第3条第2項により、審議会が成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>(資料確認)</p> <p>2 委員・事務局紹介</p> <p>では、本日は改選後初めての会議となりますので、委員の皆様のご自己紹介と事務局職員の紹介をさせていただければと思います。名簿に主な経歴を掲載させていただきましたが、皆様、様々な分野でご活躍されていますので、自己紹介の中で併せてご紹介いただければと思います。</p> <p>では、席順で池田委員から順番にお願いいたします。</p> <p>(委員 自己紹介)</p> <p>(事務局 自己紹介)</p> <p>3 会長・副会長の選出</p> <p>続きまして、会長及び副会長の選出に入ります。男女共同参画推進審議会施行規則第2条に「会長及び副会長1人を置き、委員の互選によってこれを定める。」と規定されております。まず、どなたか立候補される方または推薦したい方はいらっしゃいますか。</p> <p>丸山委員 大河内玲子様を会長に推薦します。</p>

事務局	皆様ただ今、丸山委員よりご意見をいただきましたが、いかがでしょうか。
各委員	(異議なし)
事務局	<p>それでは大河内委員に引き続き会長をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>次に、副会長ですが、どなたか立候補される方または推薦したい方はいらっしゃいますか。</p>
大河内会長	<p>笠谷委員にお願いできたらと思います。</p> <p>(異議なし)</p>
事務局	<p>4 会長・副会長あいさつ</p> <p>それでは、大河内会長と笠谷副会長には、お席を移っていただき、一言ごあいさつをお願いしたいと思います。</p>
大河内会長	<p>ご推薦いただきましたので、引き続きやらせていただきたいと思っております。至らない私ですが、皆様のお力で前回も活動しておりました。本当にこの会議は意見が大事で、いい意見も悪い意見もどちらもないと話は進まないと思うので、建設的な意見というよりも、ここが気になっているというような意見も出していただいで盛り上げていけたらいいなと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
笠谷副会長	<p>大河内会長を少しでもサポートし、この会議を上手く運営できますよう努力したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。ここからは、大河内会長に議事の進行をお願いいたします。</p>
大河内会長	<p>5 議題 女性の審議会等委員の登用促進について 資料 1～4</p> <p>それでは議事に入らせていただきます。「女性の審議会等委員の登用促進について」事務局から説明をお願いします。</p>

事務局	(資料 1、2 を用いて説明)
大河内会長	資料 1、2 について、ご質問やご意見がある方はいらっしゃいますか。
丸山委員	男女の比率を現在のまま変えないと言っている審議会はないか。改選時などに市（男女共同参画）の担当者が状況を把握して継続的に働きかけることはできると思う。
事務局	条例や計画があっても変わらない状況が続いている。男女共同参画の担当が関わっていく必要があるので、何らかの仕組みを考えていかないといけない。人の意識に関わる部分なので、担当者によって変わってしまうのではなく、あるいは形骸化してしまわないように、仕組みを考えるつもりでいる。しかしながら、実際問題、変えたくないという審議会もあるとは思いますが、ヒアリングでは了承していただいた。
丸山委員	意図的に女性をスカウトしてほしい。
大河内会長	それでは、資料 3、4 の説明をお願いします。
事務局	(資料 3、4 を用いて説明)
大河内会長	資料 3、4 について質問やご意見はありますか。
丸山委員	審議会委員の推薦依頼文に、当該審議会の女性登用率を数字で示すのはいかがか。
笠谷副会長	丸山委員がおっしゃるように、具体的な数字をあげた方がインパクトが強いと思う。関係部署には常に関心を持ってもらうことが大切。庁内の会議では、重要性をアピールし、女性の意見を反映させることが必要なのだと明確に説明してほしい。問題意識を持っている関係部署に対して粘り強いフォローアップが必要だと思う。
尾山委員	数字を示すこともいいと思うが、これが北風作戦だとすると、太陽作戦があってもいいと思う。委員を募集する事務方の立場を考えると、板挟みになるかもしれない。数字に向かって頑張ることも大事だと思うが、市が言い続けることも大事だと思う。1回

	<p>2回言われて分からなくても、10年も言われ続けたらさすがに「どうかしら」と思うかもしれない。結果として見えなくても、継続して言い続けることの意味、市が言い続けることの意味もあると思う。</p> <p>あとは、トップの組織からだけでなく、セカンドからでも、とにかく出てきてもらう。会議の場に女性がオフィシャルの看板を背負って出ていくという経験をするすることで、その女性が所属する職場の中で意識が醸成されるかもしれない。とにかく出てきてもらうことで、いろいろな立場の人が出てくることの意味、推薦母体に対する意味、会議に出たことで「もっとやってみようかな」と思う人が出てくるかもしれないという影響もあると思った。</p> <p>誰でも出やすいよう、審議会の頻度や時間帯の設定を行政側が見直してもいい。</p>
塚本委員	<p>審議会の構成員はどういった方々なのか教えていただきたい。</p> <p>私は70年代後半に企業に入ったが、その時は9割方男性だった。ところが退職時には男性50%、女性50%になった。行政からの働きかけでやってきたこともあるが、その仕事の内容が、女性の方が向いているという事が徐々に分かってきて、最終的に50%になった。審議会がやっている内容の中で女性の方が分かりやすい、従事しやすいということを探す方がより早いのではないか。</p>
事務局	<p>審議会の目的によって構成メンバーは変わってくる。学識経験者が比較的多いと思う。場合によっては公募委員、自治会などの団体からの推薦がある。</p>
丹羽委員	<p>「女性の方が向いている分野」というところを過度に強調してしまうと、職種のジェンダー化が起きてしまうということは、同時に考えなくてはいけないと思う。給食センター、PTA、保育分野という形で女性を投入してしまうと、女性の仕事、男性の仕事という形で分断ということもあると思うので、「女性の方が向いている」という視点も大事だが、そういったことを招きかねないということも踏まえた上での進め方が必要になると思う。</p>
塚本委員	<p>審議会の役割によっては委員になるハードルが高く、男女のバランスを取れないこともあるのか。</p>
事務局	<p>審議会が持つ審議事項によると思う。委員の改選時に誰かを紹</p>

	<p>介してもらおうと、紹介された方が男性であることが多いという感覚はある。</p> <p>職種の分断については、職員が打ち合わせをした時に、「女性の視点」が過度になるとその恐れがあるので注意しようという話が出た。職員のコンセンサスはできている。</p>
丹羽委員	<p>年齢層はどうなっているか。</p>
事務局	<p>年齢までヒアリングしなかったが、キャリアのある方が多いという印象がある。国民保護協議会など、判断・決定権を持って発言する必要がある会議では組織のトップである必要があり、推薦母体によっては、係長以上はすべて男性というところもあったので、そこが難しいところだと思う。</p>
丹羽委員	<p>ある程度キャリアを積んだ方が審議会に入られるのは当然だが、一方でそういった人々の姿を見て学ぶ世代、中堅層の男女、働いている人、子どもがいる人、そういった人々を入れていくことで10年後は景色が変わると思う。そういう意味でも次世代という意味でも少し若返りを図り、見せてあげるというのもいいことだと思った。</p>
池田委員	<p>根拠規定を変えるのは大変だと思った。自治会以外にもセカンドの組織で大丈夫そうな、規定の解釈の仕方で変われそうな審議会はあるか。庁内の男女共同参画推進会議の委員の男女比はどのくらいか。</p>
事務局	<p>今のところ、規定の解釈の仕方でセカンド組織から出せるような審議会は見当たらない。ただ、「識見を有する者」というところで、幅広く考えれば女性の登用も可能かと思う。</p> <p>庁内の推進会議は課長が委員となっているが、17名中6名が女性である。</p>
加藤委員	<p>令和13年度までにクォーター制を導入するということが良いか。</p>
事務局	<p>方針に基づいてクォーター制を導入してもらおうなど、すべてが整うというところまでは考えていない。13年度末を目指してやっていく。</p>

加藤委員	要綱では何を定めるのか。
事務局	促進方針だけでは難しいので、きちんと法形式で要綱で定める必要があると思っている。要綱の中で目標値を明記し、内容については、さいたま市や蕨市の要綱を参考に検討する。
加藤委員	要綱の中で40～60%という数値を明確にするとともに、担当課に市民総合相談室が働きかける根拠を明確にするための要綱という理解でよいか。
事務局	はい。
丹羽委員	<p>公募枠は審議会の多様性を担保するための非常に重要なところだと思うので、40%を超えていない審議会に公募で女性枠を設けるのは非常によいアイデアだと思った。</p> <p>以前小平市の男女共同参画推進委員会の委員をやっていて、公募で来られていたのが子育て中のパパだった。育休を取って、平日に子連れで図書館などに行くと、おむつ交換台が女性トイレにしかないなど、子育てを積極的にしたいけど整っていないという問題意識の中で公募に応募した方だった。職場の男女共同参画もそうだが、家庭生活、地域生活での男女共同参画を考えると、そういう方が多様性を担保してくれていたのだと思った。</p> <p>そういった意味でも、公募時の作文テーマを身近な題材にする、問題意識を伝えられるような形で、ハードルを難しいものを要求するというよりも、自分たちの要求を伝えるような形にするというのは大事だと資料を読んで思った。こういった所は積極的に進めてほしい。</p>
笠谷副会長	庁内の推進会議で、審議会に女性が入っていて良かったことなど、上手くいっている審議会に焦点を当てるのもより推進に繋がるのではないかと。あとは、継続は力なりなので、くじけずに頑張ってもらいたい。
丸山委員	採用の段階から平等に研修やチャンスを与えて育成をしっかりとやる。男女が50%、50%で一緒に日本を活性化しようという大きな流れなので、その日が必ず来るので私もやるからあなたたちもやってくださいとすると、各レベルで男性も女性も育成できると思う。女性枠があって活躍されているところは人も集まっている。そういうこともお話して育成に力を入れる施策をお願い

<p>尾山委員</p>	<p>したい。</p> <p>すべての審議会の要綱で、構成員を会長に限定しているとは思わないし、事務方が充て職だと思っているものが、本当にそうなのかというのもある。女性の推薦を依頼するのも一つの方法だが、年代を多様化したいので今回は20歳代から40歳代を推薦してほしいと依頼すれば、次の年代で女性が来るかもしれない、という形でいくのも一つかなと思う。充て職と言われた時に、絶対に動かないと思わない方がいいと思う。</p>
<p>大河内会長</p>	<p>いろいろな年代をと考えると、働いている世代は会議にも出席しづらいと思う。Zoom参加ができる方法を考えていくのはいかがか。傍聴もZoomでできるようになっていくのか。市の体制もあると思うが時代とともに取り入れて、違う世代や忙しい方も出て来られるようになるといいと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>充て職については、明文化されておらず慣習による充て職というものもあったので、そういったところから働きかけができると思う。</p>
<p>大河内会長</p>	<p>活発なご意見ありがとうございました。2月7日に市の担当課長が委員となっている男女共同参画推進会議が開催されるということですので、事務局におかれましては会議等で協議、調整を図っていただき、実施に向けた準備をお願いいたします。</p> <p>本日の議題は終了しましたので、進行を事務局にお返しします。</p>
<p>事務局</p>	<p>5 閉会</p> <p>皆様、本日はご出席いただきありがとうございました。次回は、7月29、30日あたりを予定しておりますので、よろしくお願いいたします。それでは、令和6年度第2回ふじみ野市男女共同参画推進審議会を終了します。</p>